

「キリストは自ら、十字架で私達の罪を負われた」Ⅰ ペテロ2：18－25

堀田修一 20・4・5

Ⅰ 先行的神の恵み。今週は、特別な週です。約2千年前の今週の金曜日に、主イエスは、私達を愛して、私達の救いの為に、私達のすべての罪を負い、身代わりに十字架で死なれ、私達が受けるべき罪の罰を受けて下さったのです。その主イエスを、自分の救い主、主と信じる人には、数えきれない罪の赦しと永遠の命（神と交わり神を知り続け永遠に神に愛される命）が与えられるのです。

Ⅱ 主イエスが、十字架で背負われた私達の罪がどのようなものかを聖書から学びたい。※自分の罪を深く自覚する時、主の十字架の恵みが、ますます分かる。

1. 「兄弟に対して怒る者は、だれでもさばきを受けなければなりません。兄弟に『ばか者』と言う者は最高法院でさばかれます。『愚か者』と言う者は火の燃えるゲヘナに投げ込まれます」マタイ5：22。殺人の罪は、私達の心の中の怒り、恨み、ばかにする態度、人を傷つける言葉で始まっています。その罪を主は十字架で負って下さったのです！主は、罪の赦しと相手の存在を大切に作る心、怒りではなく赦しの心を下さる。

2. 「内側から、すなわち人の心の中から、悪い考えが出て来ます。淫らな行い、盗み、殺人（怒り、憎しみ、恨み）姦淫、貪欲、悪行、欺き、好色、ねたみ、ののしり、高慢、愚かさ、これらの悪は、みな内側から出て来て、人を汚すのです」マルコ7：21－23。主は、私達のこれらの罪をすべて負い十字架で死んで下さったのです。主は私達が自分の内にあるこれらの罪を認め主を信じるなら、新しい心＝罪の赦しと聖さ、盗み貪欲の代わりに与える心、欺きの代わりに正直な心、人と比べ、ねたむ代わりに、自分に与えられているものを感謝する心を下さる。

3. 「彼らは神を知ることには価値を認めなかった（大きな罪）」ので、神は彼らが無価値な思いに引き渡されました。それで彼らは、してはならないことを行っているのです。彼らは、あらゆる不義、悪、貪欲、悪意に満ち、ねたみ、殺意、争い、欺き、悪巧みにまみれています。また彼らは陰口を言い、人を中傷し、神を憎み、人を侮り、高ぶり、大言壮語し、悪事を企み、親に逆らい、浅はかで、不誠実で、情け知らずで、無慈悲です」ローマ1：28－31。主は、私達が、自分の内にあるこれらの罪を認め、主を信じるなら、罪の赦しと新しい心＝神を知る事を喜び心、神の前に正しく歩む心、赦しと寛容、喜んで与える心、陰口・中傷の代わりに良い所を認め合い励ます心、神と人に感謝する心、人を尊敬する心、謙遜、親を大切にする心、情け深い愛を与えて下さる。

4. 「淫らな行い（ローマ帝国が滅びた原因の一つは不道徳、疫病の感染の原因の一つは不品行。※命を懸けて感染者の治療をされている医療従事者の為に祈りたい）、汚れ、好色、偶像礼拝（真の神以外のものを拝む）、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂（それぞれの意見を尊重し合わない）、分派（主にではなく人につく分派）、ねたみ、泥酔、遊興（深酒、不品行に繋がる悪い遊び）」ガラテヤ5：19－21。主は、私達のこれらの罪の為に十字架で死なれた。これらの自分の罪を認め主を信じる私達に、主は罪の赦しと新しい心＝聖さ、真の神を心から礼拝したい心、難しい人を赦し受け入れる愛、平和を作る心、人につかず主につき一致を守る心、泥酔・不品行な遊びの代わりに、御霊に満たされ、自制を与えられ、神のものとなされた自分の体と家族を大切にする心を下さる。

※これら一つ一つの私たち人間の罪の為に主が十字架で死なれた恵みを感謝したい！

Ⅲ 罪深い私達と違い、キリストは、地上の33年間の生涯で、悪魔と罪、悪と戦い、一つも罪を犯さず（心も行いも聖く）、聖く歩み、私達の救い主となる資格を得、十字架で死に救いを成就された。そのキリストの事が、次のように明言されている。一つも罪を犯されなかったキリストに心から感謝したい！キリストが、一つでも罪を犯されていれば、私達を救う救い主は、存在しない事態になっていた。罪のない救い主を感謝します！

「キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにとあなたがたに模範を残された。キリストは罪を犯したことがなく（このみことばを簡単に読んでではない。罪を犯さないという事は、常に悪魔の誘惑と激しい戦いをされ、勝利されたという意味）、その口には欺きもなかった」：21-22。このみことばも軽く読んでではない。私達人間の口は、どんなに欺き、過ちが多い事だろう。口を正しく制する事は、最も難しい→「私たちはみな、多くの点で過ちを犯すからです。もし、ことばで過ちを犯さない人がいたら、その人はからだ全体も制御できる完全な人です。…しかし、舌を制御できる人は、だれもいません。舌は休むことのない悪であり、死の毒で満ちています。私たちは、舌で、主であり父である方をほめたたえ、同じ舌で、神の似姿に造られた人間を呪います。同じ口から賛美と呪い（や悪口）が出て来るのです」ヤコブ3：2-10。

キリストは「ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。キリストは自ら十字架の上で私たちの罪をその身に負われた」：23, 24。主キリストは、いやいやながらではなく、自ら進んで、私達の罪をその身に負われた愛と恵みを心からこの受難週に感謝したい。

主イエスが、「自分から」私達の救いの為にご自分の命を十字架で捨てられた恵みを示すみことばが、ヨハネ10：18にもある→「だれも、わたしからいのちを取りません。わたしが自分からいのちを捨てるのです」。私達は、自分の罪の為に、神に捨てられて当然でした。しかし、主イエスが、自分から、十字架の上でご自分の命を捨てられたので、捨てられて当然の私達が、永遠の滅びから救われ、神のもとに帰ることが出来るのです。

「あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの牧者（羊飼）であり監督者である方のもとに帰った」：25。私達に、帰る所、神のみもとがある。

Ⅳ 主の恵みへの応答

1. 主の恵みに感謝し、心から神を賛美し礼拝をささげたい。
2. 主が自分から進んで私達の救いの為にご自身を捧げられたように、私達も、いやいやながらではなく、自ら進んで喜んで、自分自身と感謝の捧げ物を神に捧げたい。
3. 御聖霊の力に頼り「罪（神が喜ばれない悪）を離れ、義（神の前に正しい生き方、神との正しい関係の回復、神のみこころ）のために生きる」（：24）者に変え続けていただきたい。
4. 新型コロナウイルスの治療薬、ワクチンが開発され、全世界で終息するように心を合わせ祈りたい。医療従事者が、感染から守られ、医療崩壊にならないように祈りたい。
5. 一人でも多くの人々の命が守られ、主の再臨に間に合ううちに、一人でも多くの人々が主を信じ救われるように。